

LEVEL
1

ぴーたーらびっと しりーず
ピーターラビット シリーズ②

べんじゃみんばにー はなし
ベンジャミンバニーのお話



げんさく べあとりくす ぼったー
原作：ベアトリクス・ポッター

かんやく いお あおい
簡約：井尾 藍



朗読音声のダウンロード
Audio download

よ まえ
★読む前に Before you read

《多読の読み方》

多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本語を身につけていく方法です。

次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む



《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

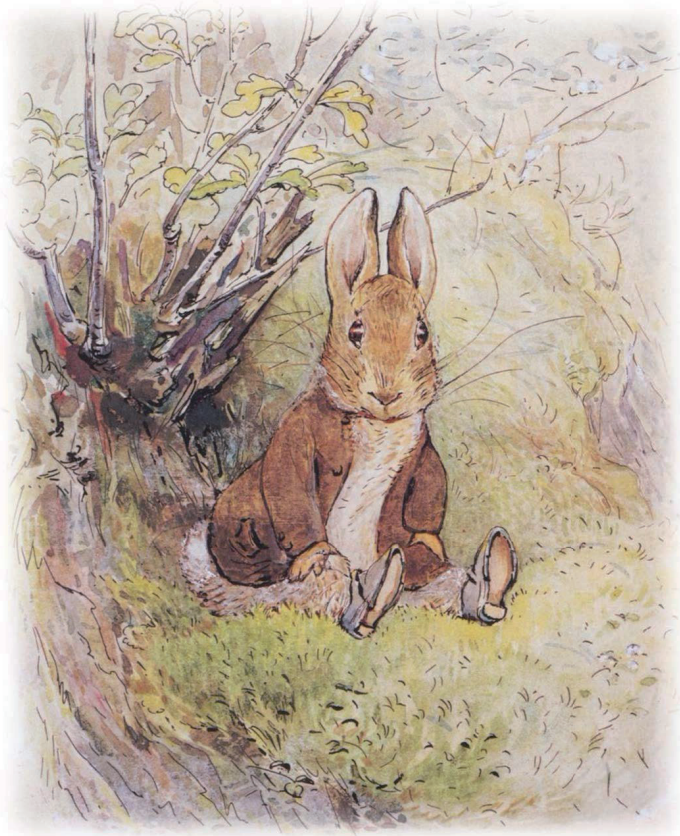
1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.



あさ
朝です。

こ
子うさぎがいます。

なまえ べんじゃみん
名前は、ベンジャミンです。



まぐれがー おく まち い
マグレガーさんと奥さんが、町に行きました。
べんじゃみん ぴーたー いえ い
ベンジャミンは、ピーターの家に行きます。



おーい、
ぴーたー！

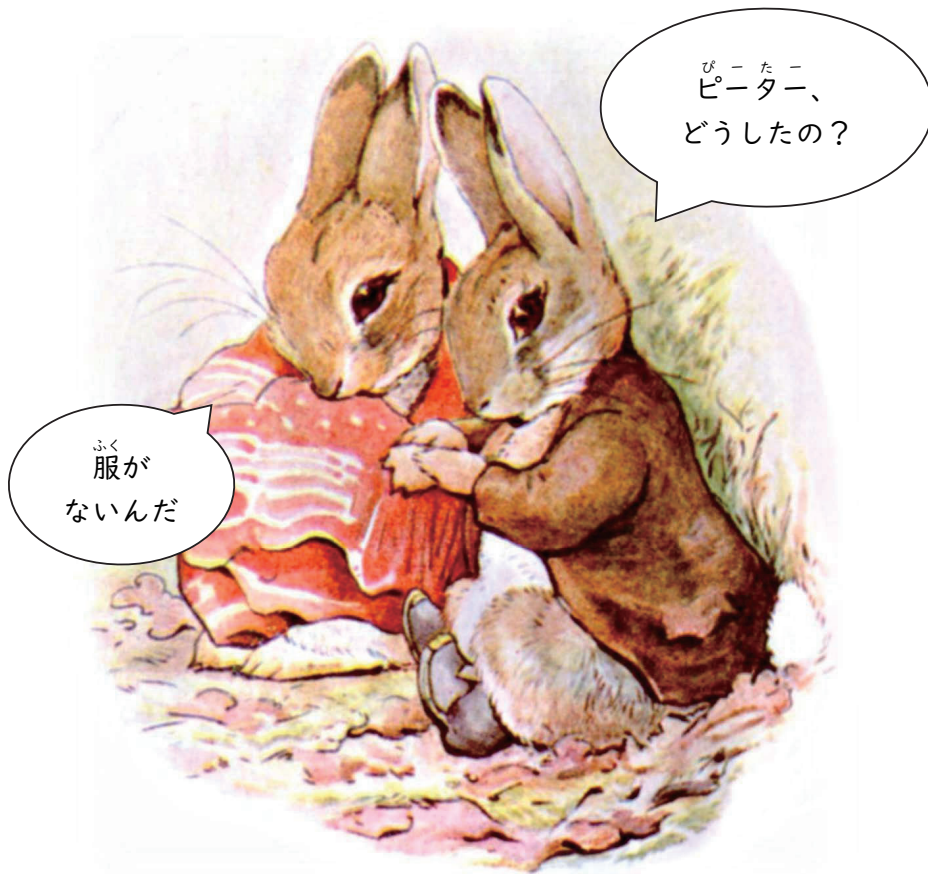


—あれ?—

ぴーたー
ピーターがいます。



ぴーたー げんき
ピーターは元気がありません。



ふく
「服はどこ？」
べんじゃみん い
ベンジャミンは言いました。

まぐれがー はたけ
「マグレガーさんの畑にあるんだ・・・」
ぴーたー い
ピーターは言いました。



ぴーたー
「ねえ、ピーター。
いま まぐれがー
今、マグレガーさんは、いないよ」
べんじゃみん い
ベンジャミンは言いました。



べん じゃ みん ぴー たー
ベンジャミンとピーターは、
まぐれ がー は た け い
マグレガーさんの畑に行きます。

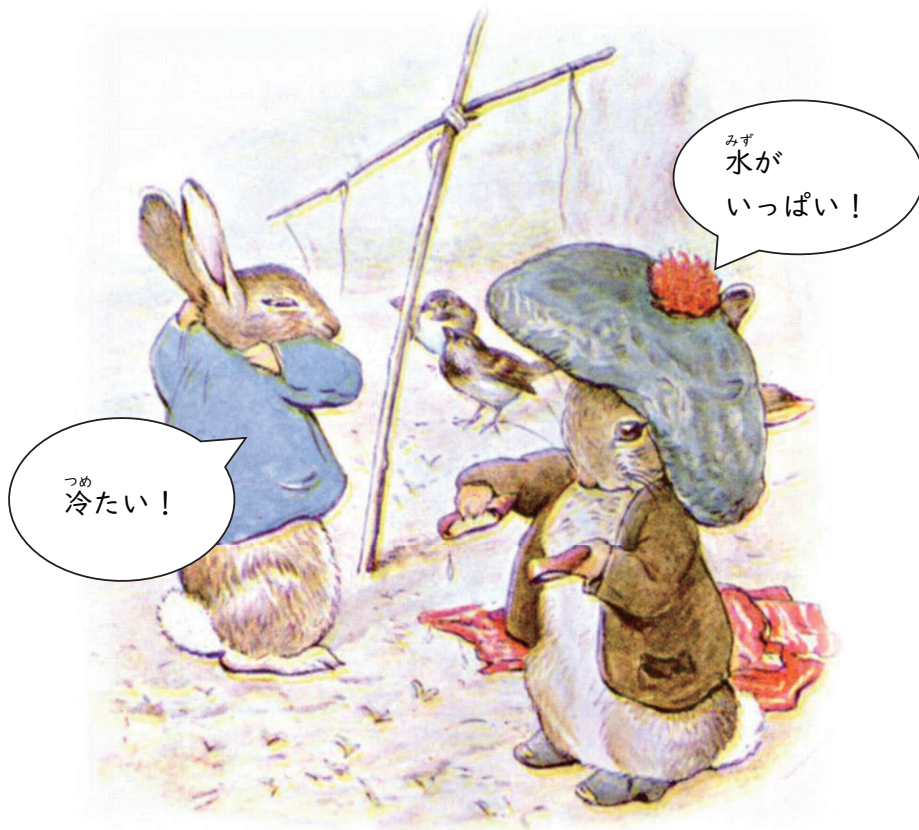


「あ、あそこ！」
ふた り い
二人は言いました。
ぴー たー あ お ふ く く つ
ピーターの青い服と靴がありました。

きのう あめ ふ
昨日、雨が降りました。

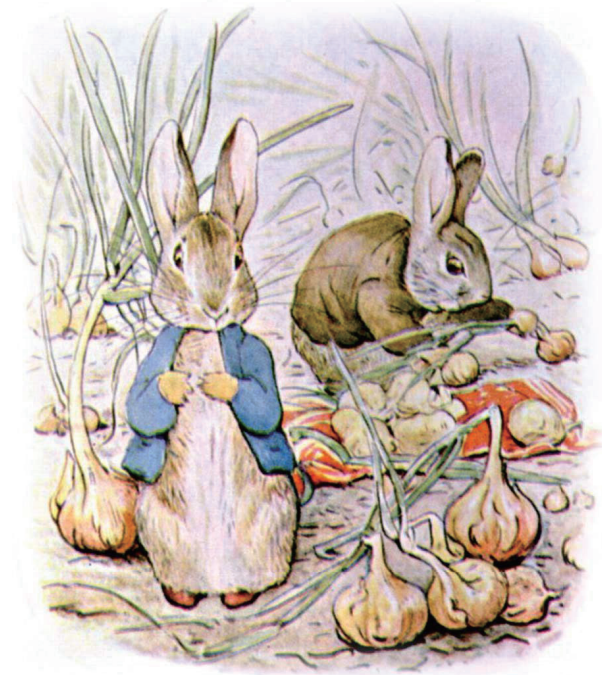
くつ なか みず
靴の中に水がたくさんあります。

あお ふく つめ
青い服も冷たいです。



べん じゃ みん たま
ベンジャミンは玉ねぎをとります。

ぴー たー かあ たま す
「ピーターのお母さんは、玉ねぎが好き？」



ぴー たー なに い
でも、ピーターは何も言いません。

ぴー たー はや いえ かえ
ピーターは、早く家に帰りたいです。

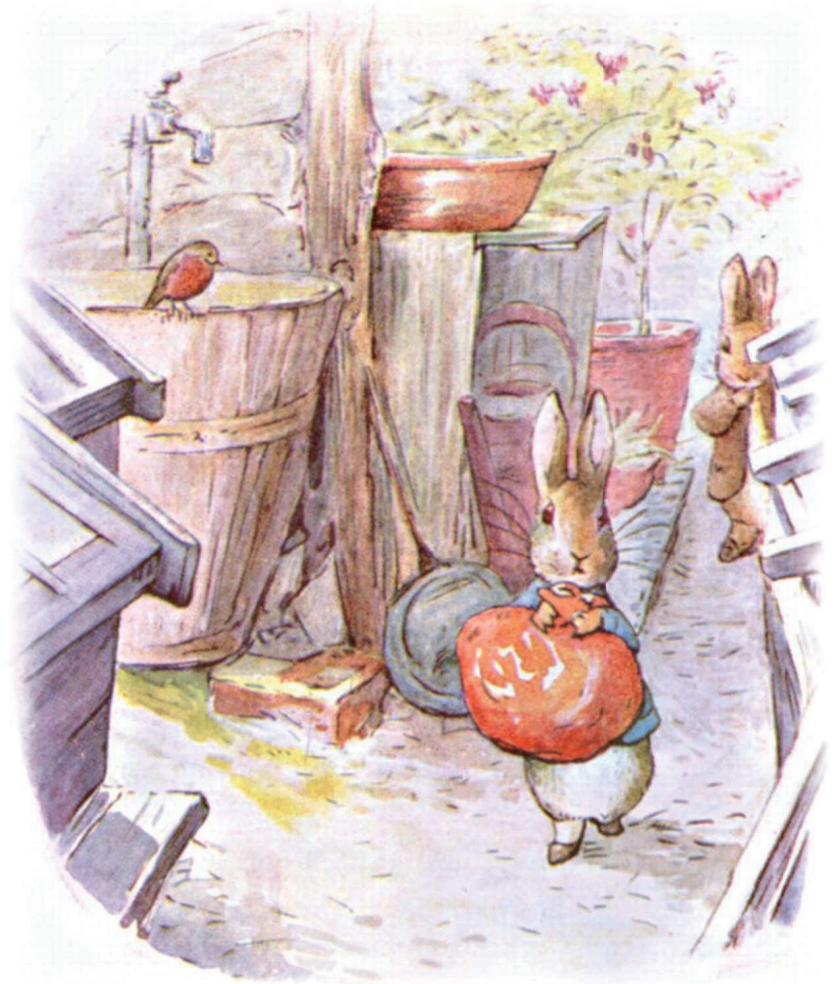
まぐれ がー こわ
マグレガーさんが怖いですから…。

「いつも、お父さんとここに^{どう}来る^くんだ」
ベンジャミン^いは言^いいました。



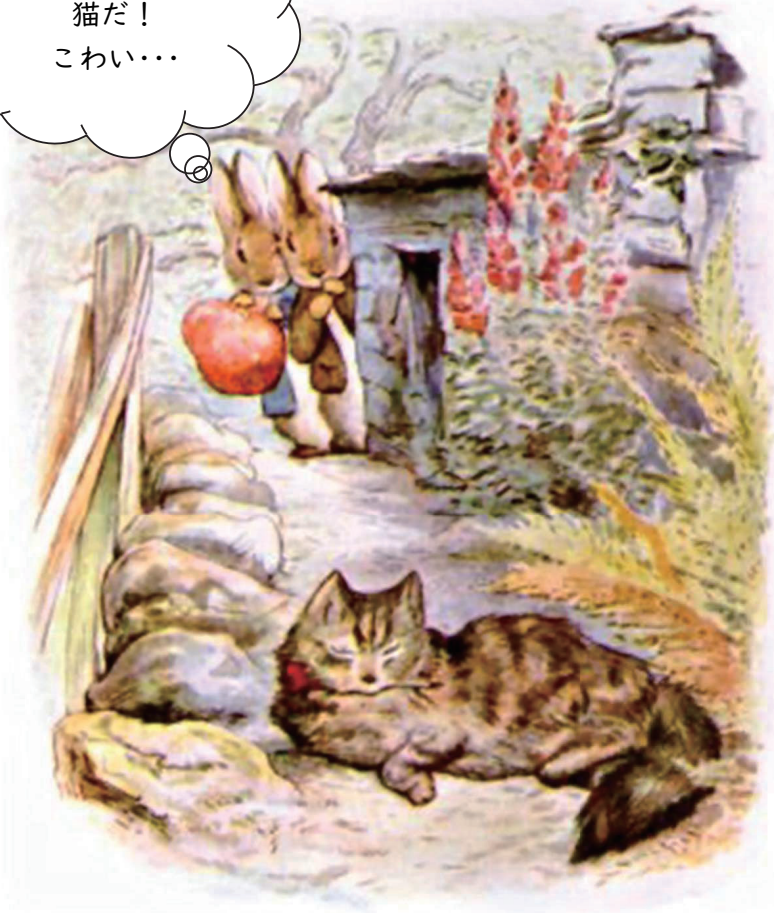
ベンジャミン^{まぐれがー}はマグレガー^{れたす}さんのレタスを
食^たべます。でも、ピーター^{なに}は何も食^たべません。
「ねえ、ベンジャミン^{ぼく}。僕^{いえ}は家^{かえ}に帰^{かえ}りたい」

ピーター^{はし}は、走^{はし}ります。



おお ねこ
あつ、大きい猫がいます！

ねこ
猫だ！
こわい…



ぴーたー べんじゃみん
ピーターとベンジャミンは、
なか はい
すぐに、かごの中に入りました。



ねこ うえ すわ
猫は、かごの上に座りました。



こわいよー!

ぴーたー べんじゃみん なか
ピーターとベンジャミンは、かごの中で
な
泣きました。

ねこ じかん
猫は、5時間もいました。

ねこ うえ み
猫は上を見ました。

だれ
—あれは誰?—



べんじゃみん とう
ベンジャミンのお父さんです。

とう ねこ み
お父さんも、猫を見ました。

あ！

べん じゃ みん どう ねこ うえ
ベンジャミンのお父さんが、猫の上に！！



ねこ
猫は、びっくりしました。
そして、^{はし}走りました。

ねこ
猫は、もういません。

どう ふたり だ
お父さんは、二人をかごから出しました。

まぐれ がー はたけ こども
「マグレガーさんの畑は、子供だけじゃ

あぶ
危ないよ！」





べん じゃ みん どう たま れ た す
ベンジャミンのお父さんは、玉ねぎとレタスを
も
持ちました。

そして、ゆっくり畑の外に出ました。

ぴー たー いえ かえ
ピーターは家に帰りました。

「ただいま」

ぴー たー い
ピーターが言いました。



「おかえりなさい」

かあ い
お母さんが言いました。

ぴーたー かあ たま
ピーターは、お母さんに玉ねぎをあげました。



— あら、ぴーたー…ふく くつ
お母さんは、うれしかったです。 —

ゆうがた まぐれがー いえ かえ
夕方、マグレガーさんは、家に帰りました。

はたけ い
そして、畑に行きました。

ぴーたー あお ふく くつ
ピーターの青い服と靴がありません。



— あお ふく くつ
青い服はどこ？靴はどこ？ —

～おわり～



ぴーたーらびっと しりーず
ピーターラビット シリーズ②
べんじゃみんばにー はなし
ベンジャミンバニーのお話

発行日 : 2021年11月10日

簡 約 : 井尾 藍

協 力 : 川名恭子 近藤麻衣子 田中るり子

イラスト : パブリックドメインQ 著作権フリー画像
<https://publicdomainq.net/>

Project Gutenberg The Tale of Benjamin Bunny
<https://www.gutenberg.org/ebooks/14407>

監 修 : NPO 多言語多読

この本は、NPO 多言語多読会員が読みもの作成ワークショップで作りました。



NPO多言語多読

tadoku.org



この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変禁止4.0国際ライセンスの下に提供されています。

This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>